

未来へつなぐ 愛・夢・安らぎ

～令和8年度施政方針～

「施政方針」とは町長が各年度においてこれからの町政運営に向けての基本的な考え方や主な施策の方向性を示すものです。令和8年度の重点施策など町の取組についてお知らせします。



南風原町長 赤嶺 正之

これまで掲げてきた「平和」「自立」「共生」の基本理念の実現に向け、その歩みを確かなものとし、将来像である「ともにつくる黄金南風の平和郷」の実現を目指してまいります。

みんなで考え、みんなで創る わくわくするまちについて

町民への情報提供の強化に向けて、町公式ホームページに続き、公式LINEのリニューアルにも取り組み、町民が最新の行政情報をタイムリーに受け取れる環境を整備します。引き続き、SNSなど多様な媒体を効果的に活用し、迅速かつ確実な行政情報の発信に取り組みます。

さらに、町民との双方向コミュニケーションを一層促進するため、まちメールなどに加え、各種委員会への公募委員の積極的な登用やパブリックコメント制度の活用など幅

はつめい

私は平成30年5月の町長就任以来、未来へつなぐ「愛・夢・安らぎ」をスローガンに掲げ、南風原町総合計画の将来像である「ともにつくる黄金南風の平和郷」の実現と、町民皆様との公約である7つの政策に全力で取り組んでまいりました。

任期期間中は、保育待機児童の解消、高校生年齢までの医療費無償化の拡大、若年妊産婦支援や若者支援などを通じて、安心して子育てができる環境の整備に取り組みました。

また、高齢者のタクシー初乗り料金の助成や加齢性難聴者に対する補聴器購入費の補助などを実施し、高齢者にもやさしい福祉のまちづくりに取り組みました。

教育分野では、幼稚園及び小学校全教室へのクーラーの設置、北丘小学校体育館の建て替えやプール改築、GIGAスクール構想の推進、さらには医療的ケア児に対する看護職の配置など、誰もが安心して学ぶことができる教育環境の充実に取り組みました。

新型コロナウイルス感染症や物価高騰等の影響を受けた町民や事業者に対しては、商品券配布など、

広い対話の機会を確保します。

これらの取組を通じて、町民の町政への参画を推進し、その声が町政に適切に反映するよう努めます。

キラキラと輝く人が 育つまちについて

家庭教育、ふるさと教育、学校教育を通じて、自ら考え、決め、行動できる人を育てます。人と人のつながりを大切にし、より大きな力を発揮できる環境を整えるため、家庭と学校、地域が一丸となって取り組みます。

学校教育においては、学校運営協議会を中心とした「地域とともにある学校づくり」を推進し、地域と学校が連携、協働した地域学校協働本部（学校応援隊はえばる等）の活性化を図ります。また、基礎学力の土台である「読み解く力」を強化するため、新たに研究推進校を指定し「確かな学力」の向上を図り、さらにICTを最大限に活用し「わかる授業」を展開します。登校に不安を抱える児童・生徒に対しては、関係機関と連携し、一人ひとりに寄り添った伴走型支援を継続します。幼稚園教育では、幼保こ小架け橋期の力

その時々状況に応じた生活支援策を講じました。令和8年度も町民へ1万円の商品券を配布するほか、水道基本料金の3か月分支援などに取り組みます。

男女共同参画においては、女性デジタル教育・就労支援に取り組みました。

道路整備では町道73号線と津嘉山中央線の一部を完了しました。また、公園事業は、津嘉山公園整備を重点的に取り組んだことで、令和8年度に全面供用開始を予定しています。

津嘉山北土地画整理事業は、令和6年度までに全体面積の約65%を整備しました。下水道事業の汚水整備は、本部、喜屋武、照屋地内を、雨水整備は照屋地内の整備を重点的に進めました。

都市計画においては、都市計画マスタープランの改定を行い、市街化区域の拡大、用途地域の変更、地区計画の策定を実施しました。

交通政策では、交通基本計画及び総合交通戦略を策定し、モビの実証運行に取り組んでいます。

自治体DXは、DX推進班を新設し行政手続きのオンライン化の推進など、行政サービスの利便性の向

キュラムを推進し、小学校への円滑な接続を図ります。また、幼稚園の給食の提供回数拡充し、子育て世帯の負担軽減を図ります。

学校給食は、共同調理場の一部改修を行い、衛生対策の強化を図ります。

教育施設は、築39年になる南星中学校の施設改修を検討するため、耐力度調査を実施します。また、計画的に小中学校校舎の照明LED化に取り組めます。

生涯学習を推進するために、中央公民館や文化センターを拠点として、多くの町民の学び・体験・交流ができる機会の拡充を図ります。また、魅力ある図書館を目指し、電子図書や地域資料等の整備・充実を進めます。

交流関連事業は、海外移住者子弟研修生事業、民俗芸能交流会の開催、青少年国際交流事業で中学生のカナダ国派遣を実施します。また、文化センターに収蔵されている沖縄や南風原の歴史資料等をデータベース化して公開し、活用を推進します。

スポーツ振興は、黄金森公園施設を活用したスポーツキャンプ等を誘致します。また、町民に広くスポーツ活動の機会を設け、生涯ス

上に取り組まれました。

財政運営では、厳しい財政状況の中、第三次財政健全化計画を策定し、国民健康保険特別会計の累積赤字の解消や財政調整基金の確保に取り組みなど、健全で持続可能な財政基盤の確立を図りました。

私の任期も、残すところ2か月余りとなりましたが、平和・教育・文化・福祉・子育て支援等の様々な分野において、引き続き町民皆様の声に真摯に耳を傾け、共に歩む姿勢を大切にしながら、残された任期を全うしてまいります。

それでは、令和8年度に実施する施策について、その骨子を申し述べます。

ともにつくる 黄金南風の平和郷について

令和8年度は、第五次南風原町総合計画の最終年度です。これまでの施策について総括的な評価・検証を行い、その成果と課題を次期総合計画へと着実に引き継ぐことで、持続可能なまちづくりの基盤を確かなものとしてまいります。

そして、この節目の年にあたり、

ポーツや競技力向上の推進に取り組めます。

ちむぐくるでもこころ 福祉と健康のまちについて

民生部の組織再編を行い、保健福祉課を福祉課に改め、庁舎2階に子ども課を移転するなど、地域福祉及び相談体制の強化を図ります。また児童福祉機能と母子保健機能を一化した「こども家庭センター」を設置します。

施設整備は、ちむぐくる館、宮平保育所及び北丘・本部の両児童館において照明LED化等を行います。子ども・子育て支援は、こども誰でも通園制度の本格実施、こども医療費の高校卒業年齢までの現物給付を継続します。児童待機対策は、新たに津嘉山小校区に1施設を新設します。こどもの貧困対策は、こども、若年妊産婦及び若者への切れ目ない支援を継続します。

障がい者（児）の自立に向けた支援の推進や高齢者の介護予防および認知症対策のさらなる推進を図ります。また、権利擁護を含む相談支援体制の強化、地域包括ケアシ